

アメリカ合衆国
ジョー・バイデン大統領 閣下

貴国が、2021年6月と9月にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を実施した旨の報道に接しました。

2021年1月にも、貴国の臨界前核実験に対する抗議文を送付し、抗議したにも関わらず、再び核実験を行ったことは、核爆発を伴わないとはいえ、今後も核兵器の開発を進め、維持していく意志を示していると受け止めざるを得ない行為です。

特に、貴国の今回の核実験は、ロシアによるウクライナ侵略、北朝鮮による核実験再開の兆候など、核兵器使用のリスクが非常に高まる中で明らかになったものであり、核兵器を廃絶していこうという世界の潮流に逆行するとともに、平和を願う国際社会の意思を踏みにじるものであり、断じて容認できるものではありません。

私たちはここに、世界連邦都市宣言及び非核都市宣言を行い、平和施策の推進に関する条例を制定している三鷹市を代表し、貴国が実施した核実験に強く抗議します。

貴国には、今後の核実験の即時中止と核兵器の廃絶に向けた主導的役割を果たされるよう、強く要請いたします。

2022年4月19日

三鷹市長 河村 孝

三鷹市議会議長 土屋 けんいち